出版労連　原発問題委員会　学習会

講演　原子力の虜・日本と再稼働

―柏崎刈羽・新規制基準『適合』を問う―

講師　山崎久隆さん　たんぽぽ舎、劣化ウラン研究会

3・11 東日本大震災と福島原発過酷事故から 6 年 6 か月がすぎました。

たくさんの裁判が提訴され、大勢の人びとが東電と国の責任を問い闘っています。

ようやく東京電力元幹部を被告とする刑事裁判も始まりました。第 1 回公判で、東電が津波を予測していながら対策を放棄したために、過酷事故が起こったことが明らかになっています。しかし東電は、事故の責任は自分たちにはないと開き直り、そのうえ柏崎刈羽原発を再稼働させようとしています。

このような東電の姿勢の背後には、原発をベースロード電源とし、再稼働を推進する安倍政権の政策があります。また「安全・安心」の宣伝によって、避難民は線量の高い故郷に帰還させられています。

突然の総選挙となり「原発ゼロ」を声高に叫ぶ政党も登場しています。あらためて原子力政策の現状を見つめる機会を持つため、脱原発市民運動を理論的にリードされてきた山崎久隆さんをお招きします。柏崎刈羽原発の再稼働を急ぐ東京電力、後押しする自公政権のエネルギー政策観について学び、出版労働者がどのような取り組みをすべきなのか、考えたいと思います。

業務や生活に追われる日常、しばらく原子力政策について考えるゆとりがなかったかも、という方がたのご参加を歓迎します。

●日　時　2017 年 11 月 30 日（木）18：30～20：45（予定）
●会　場　文京区民センター　3 C（地下鉄丸ノ内線「後楽園駅」・三田線「春日駅」）
●参加費　無　料

閉鎖中の JR 双葉駅と国道 6 号をつなぐ道路にあった看板。
2015 年 12 月 21 日に撤去された。

山崎 久隆さん　プロフィール

1959 年富山県生まれ。富山県立桜井高等学校卒。たんぽぽ舎、劣化ウラン研究会、福島原発市民事故調査委員会。

おもな著書：「破壊された制御棒 世界でも例を見ない重大な事故」（2006 年「よせあつめ新聞」より），『隠して核武装する日本』（影書房、2007 年），『まんが劣化ウラン弾』（合同出版、2004 年），『福島原発多重人災 東電の責任を問う』（共著　日本評論社、2012 年）

主催：　出版労連 原発問題委員会
113-0033 東京都文京区本郷 4-37-18 いろは本郷ビル 2 階
Tel：03-3816-2911　　E-mail：rouren@syuppan.net